

昭和38年(1963)

道徳教育研究会を開催(6)

「東三河工業整備特別地域」の指定(7)

「母と子の20分間読書」の県PTAの指定を受け、研究実践に移る(8)

中央で非行少年補導問題大きくなる(7・26)

PTA広報紙「子とともに」創刊

昭和39年(1964)

鉄筋第一校舎、第1期工事起工(普3・理科室・音楽室)(10・3)

全国小学校長会、学力テスト全面中止を要望する(9・4)

第18回オリンピック東京で開催(10・10)

学習指導法、第1次研究発表会開催(12・4)

昭和40年(1965)

「期待される人間像」中教審、中間発表(1・14)

鉄筋第一校舎、第2期工事竣工(普4、職員室・応接室)(4・3)

「小学校スポーツテスト実施要項」決定、本年度より実施される(4・14)

市営プール完成(7)

学習指導法、第2次発表会開催(11・5)

昭和41年(1966)

小プール竣工(7)

「三元放送」器機設置(8)

学習指導法・第3次発表会開催(10・24)

交通事故死 13,904人を教え、交通戦争大きく問題となる。

昭和42年(1967)

この年より「建国の日」はじまる(1・11)

「家庭教育学級」の指定を受ける。PTA(4・26)

市、文化会館完工(10)

文部省、学力テストの中止を決定する。

望まれる児童像は

かつて日本の歴史になかった経済繁栄の中に育つ児童の教育には、新しい数々の問題をかかえることとなった。それは国民全体としてとりくまなければならない。

- 身心を打ちこめる遊びを。
- 知情意の調和的発展、勤労と鍛練を。
- 豊かな人間関係、家庭も学校も社会も。
- 児童のために社会連帯感を。

・児童会選挙(48・4)



・水泳(48・8) 47年度全国表彰を受ける



・自然にかえれ 野外教育センターの合宿訓練。



写生会 (48. 5) 交通問題から場所の問題も



全校リズムによって (業間体育48. 6)

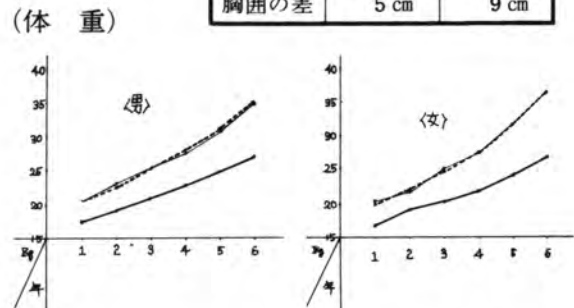
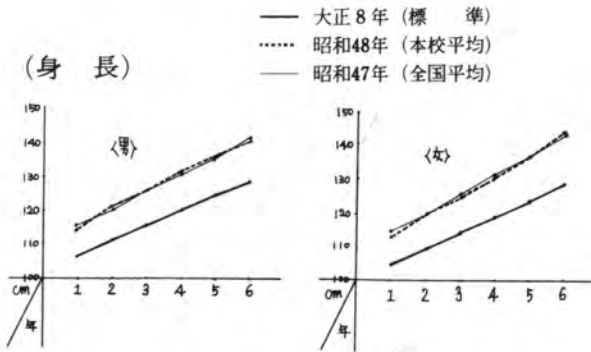


体格はよくなったが

児童の体格を大正8年、昭和48年の統計で比較だが、体力やがんばりでは…

6年児童

	男	女
身長之差	12cm	15cm
体重之差	8kg	9.5kg
胸囲之差	5cm	9cm



生涯教育叫ばれてPTAの研修活動盛ん



他校参観 (46. 6) 岐阜市

親子ハイキング (48. 5) 赤岩公園

理科の実験も (48. 7)



昭和43年(1958)

- 第一校舎第3期工事竣工(普3便所)(1・8)
- 第4次学習指導の研究を集録として刊行(4)
- 留守家庭児童会(つくし会)発会(4)
- 三元放送設備と全教室テレビ受像機が整う(7・6)
- PTAの奉仕作業によって保健室竣工(8・10)
- 公害病問題とりあげられる(6)
- 明治100年記念式典挙行(10)
- 第5次学習指導研究発表会開催(12・6)
- 大学粉争激化

昭和44年(1959)

- 市向山交通児童遊園開設(4)
- 県高校入試9教科を改め5教科に(3・17)
- 東名高速道路開通(5)
- 市給食センター発足(5)
- PTA奉仕によってプールの脱衣室・倉庫できる(6)
- 学習研究社より学習指導の研究の成果により賞を受く(11・)

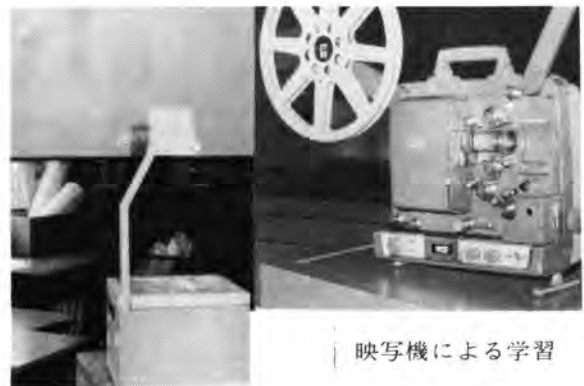
昭和45年(1970)

- 第6次学習指導研究集録を発刊(3・15)
- PTA「家庭教育学級」の研究指定を受け大いにその成果を挙げる(4・16)
- 市野外教育センター設立される。この年より小学6年(1泊2日)中学1年(2泊3日)の野外教育を市内全校実施。
- 「通知表」絶対評価3段階方式にかわる(7・20)
- 大阪で万国博が開かれ、6年生は修学旅行で万博へ(4・13)
- 「FM愛知」放送を開始する(4)
- 運動場整地・防球ネット・給食用の通用門等整備する(8)
- 「豊橋子供自然公園」開園(8)
- 学習指導研究をテーマに公開現職教育を実施。
- 講師 名大広岡亮蔵氏(12・12)

新しい時代の教育へ



昭和41年8月 三元放送と全教室のテレビ受像機完成。



映写機による学習

O・H・Pによる学習活動も盛ん、スクリーンの各教室の完備も昭和48年度で。



あらゆる教育機器が児童の学習の確かさへと結ばれる。

学校図書館での学習



学校図書館コンクールで地区優秀賞を受く。(昭47・12・15)

P T A も読書活動へ

県PTA大会で発表

＝本校PTAの母と子の20分間読書運動＝

五月十四日、豊田文化講堂で開催された県PTA大会で、本学区の20分間読書の様子を発表いたしました。発表は稲場町の三浦六郎さん、翠地町の高橋長七さん、一番町の小林まつ子さんにお願いたしました。聴衆も1,600名、真情あふれる体験発表に場内はせきとして声なく、体支のり出して聞き入る方もありました。その時の発表内容をご紹介します。

”母と子の20分間読書,,は
どのように進めたか

高橋長七

子供を良い子に育てたいと思うのは親の最大の願ひでございます。しかし、怒つたり願つたりするだけでは、なかなかよくなりません。私達



誦習の名のもとに、「読書感想文集」が (昭47・11・10)

留守家庭児童会育成事業報告書



豊橋市教育委員会

交通安全指導も教育へ



「正しく横断」
昭48・4
新1年生の下校風景

「交通安全教室」警察も学校にきて子どもも先生も。

共働き家庭急増「つくし会」(昭43)

委嘱状

研究題目 交通安全指導
研究期間 1か年
学校名 豊橋市立花田小学校

みだしの研究を委嘱します

昭和43年4月1日

豊橋市教育委員会

昭和46年(1971)

改訂教育課程実施(4・1)

P T Aの奉仕作業によって「教材園」できる
(5・3)

第一校舎着工のため木造保健室とりこわされる
(6・10)

中教審「第三の教育改革」答申(6)

市、宿日直完全廃止(7・7)

第一校舎完工(普2, 保健室・工作室・図書館
・図画室) 竣工式(10・13)

P T Aの奉仕によった成った「旧保健室」(竣工43・8～とりこわし46・6)



昭和47年(1972)

県・複合学校群を取り入れた「高校新学区制」
に決定。48年度入試により実施(4)

学制発布100年記念式典(5・26)

学制発布100年記念植樹(8・10)

前川忠雄校長 学校自宅合同葬(9・27)

講堂を体育館に改装する(12・17)

中庭・池(まわりの遊歩道・噴水もP T Aの奉仕
による) 昭48・8



昭和48年(1973)

交通安全指導研究の委嘱を市・市教委より受ける
(4・1)

グランドピアノ(C7)購入(特志)(4・1)

創立100年記念式典を挙げる(10・13~15)

花田学校同窓会第1回総会, 戦後断絶していた
花田学校同窓会として復興(10・14)

第一校舎前の動物飼育小屋と温室(温室は卒業記念品・飼育小屋はP T A廃品回収) 昭48・8



創立百年記念大運動会(昭48・9・23)

体育館に改装された講堂



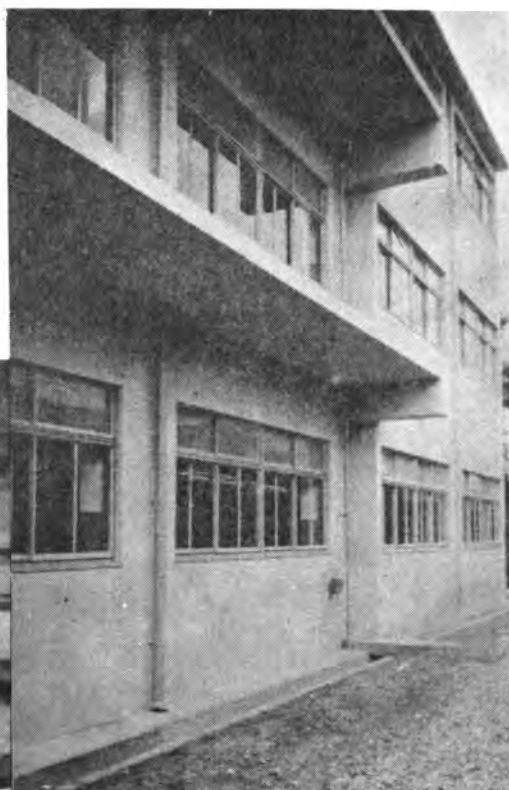
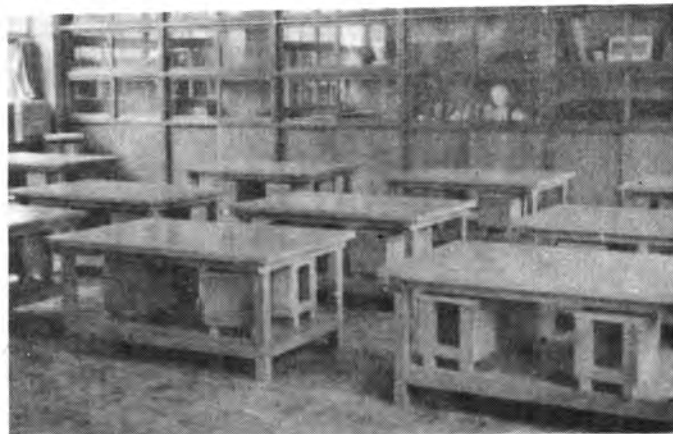
岩石教材園（昭43・8）



昭和23年より講堂に飾られた
白井烟嵩氏の大作，体育館改
造のため取りはずす。(昭47・8)



竣工なった第一校舎第4期工事（46・10・13）
同工作室内部



東海道新幹線駅と花田

新たな発展が期待される駅西地区

未来へ伸びる花田



産業地に伸びる花田北部

住宅地に開発 進む花田西部



豊橋の玄関口

東海道新幹線駅



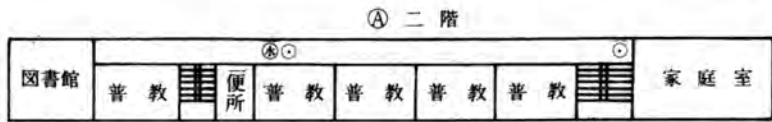
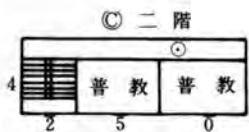
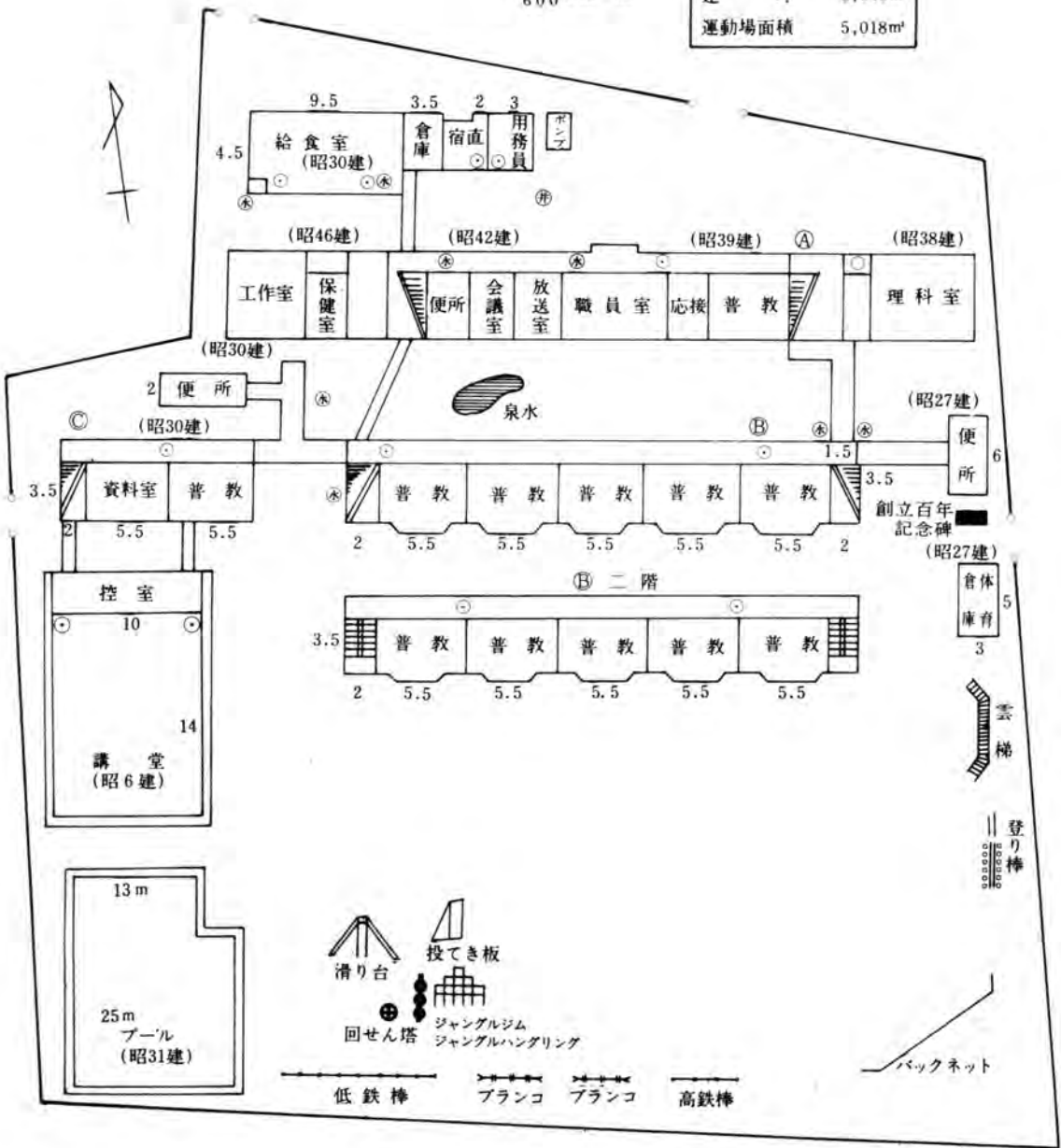
三河港港湾計画平面図



花田小学校平面図 (昭48. 10. 1)

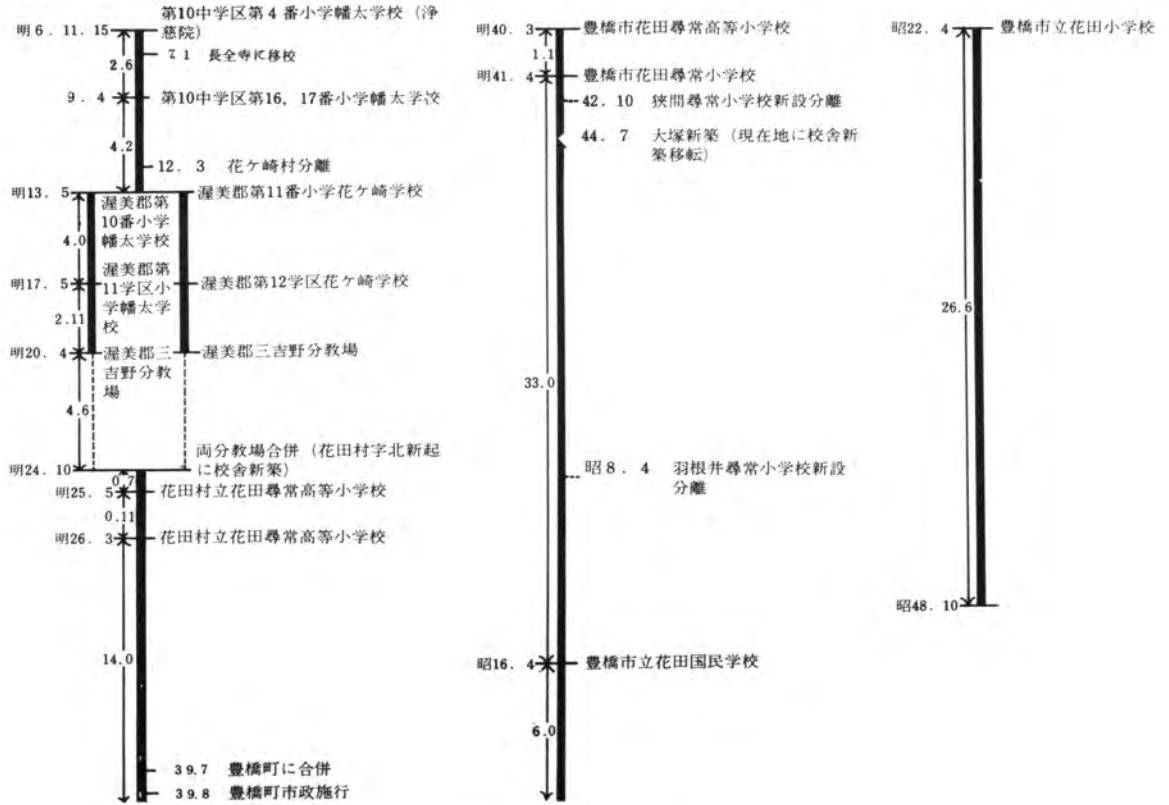
校地面積	13,058㎡
建坪	8,040㎡
運動場面積	5,018㎡

$\frac{1}{600}$ 単位 = 間



◎印は消火器

花田学校変遷表



花田小学校児童数名称の変遷

創立年度	入学児童						卒業児童						在籍児童			備考
	尋常科			高等科			尋常科			高等科			総計			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
明5.10.15															70人余	開校明5.10.15. 多聞山日誌
明12															54	幡太学校
12. 4															83	花崎学校、幡太学校の記録なし
18. 1															92	々
19. 1															87	々
19. 4															99	々
19.12															88	々
23							21	4	25				119	61	180	明22. 9. 三吉野学校の分校から幡太、花ヶ崎合併校舎新築
24							21	6	27				144	95	239	明24. 10. 新校舎開業式典
25			81				19	3	22				170	114	284	明25. 9. 補習科併置
26			80				29	15	44	3	0	3	176	129	305	明26. 高等科併置
27	42	28	70	39	10	49	23	16	39	5	0	5	196	121	317	
28							30	16	46	7	0	7	218	111	329	
29			56				36	20	56	8	1	9	235	102	337	
30			35				39	9	48	13	0	13	221	106	327	
31			58				32	14	46	12	3	15	217	126	343	
32			54				41	18	59	14	2	16				
33			56				26	16	42	25	1	26				
34							26	24	50	16	3	19				
35			73			36	29	27	56	16	9	25				明35. 4ヶ年高等科併置
36			90			36	40	35	75	10	7	17				
37	50	32	87	35	22	57	36	42	78	10	4	12				
38	38	54	92	33	20	53	41	29	70	15	7	22	251	217	458	
39	49	54	103	32	27	59	43	35	78	13	9	22	271	240	511	明39. 8. 豊橋市制施行
40	53	48	111	36	19	55				12	6	18	291	242	533	明40. 4. 豊橋市花田尋常小学校と改称
41	59	70	139	42	24	66							324	277	601	高等科廃止、八町高等小へ転学
42	91	79	170				10	12	22				395	366	761	学区再編成、狭間尋小分離
43	35	37	72				19	14	33				176	156	323	
44	36	35	71				21	19	40				175	154	329	
45	51	29	80				21	20	41				195	187	382	
大2	33	41	74				25	22	47				188	184	372	
3	56	42	98				23	21	44				210	186	396	
4	38	43	81				31	18	49				220	194	414	
5	55	55	110				17	33	50				238	232	470	
6	54	54	118				44	20	64				291	253	544	
7	73	54	127				30	32	62				319	265	584	
8	55	66	131				47	37	84				342	288	630	
9	74	78	152				44	38	82				358	328	686	
10	87	76	163				52	43	95				406	356	762	
11	87	79	166				58	43	101				439	389	828	
12	91	82	173				70	53	123				488	447	935	
13	86	102	188				75	73	148				521	510	1,031	
14	95	93	188				82	80	162				570	554	1,124	

義務教育6年となったため40・41年度は尋常科卒業生なし。

大15	114	111	225	94	86	180	610	606	1,216
昭2	162	150	212	117	101	218	706	695	1,401
3	131	118	249	117	101	218	754	747	1,502
4	179	193	372	101	121	222	824	850	1,684
5	209	189	398	100	112	212	921	909	1,830
6	165	184	349	124	138	262	972	975	1,947
7	201	215	416	159	153	322	1023	1,030	2,053
8	128	98	226	70	58	138	607	588	1,195
9	102	103	205	105	83	188	625	621	1,246
10	122	113	235	86	107	190	626	646	1,272
11	139	121	250	86	95	181	651	639	1,290
12	110	116	226	102	107	209	671	644	1,315
13	119	139	258	111	94	205	688	652	1,350
14	132	109	241	97	88	185	704	674	1,378
15	123	140	263	117	100	217	730	710	1,440
16	120	103	223	128	106	234	734	702	1,436
17	142	142	248	117	103	220	72	716	1,458
18	137	125	262	115	124	239	773	728	1,501
19	122	122	244	132	101	233	773	718	1,491
20	98	82	180	78	87	155	695	668	1,361
21	73	76	149	84	78	162	473	450	923
22	106	78	184	89	101	190	503	466	969
23	102	102	204	83	77	150	503	464	967
24	80	78	158	80	84	154	514	476	990
25	97	91	188	66	56	122	546	491	1,037
26	96	74	170	79	80	159	581	522	1,103
27	71	71	142	113	90	203	583	528	1,111
28	97	89	186	111	107	218	571	538	1,109
29	143	111	254	93	97	190	611	553	1,164
30	144	104	248	112	98	210	680	573	1,253
31	117	124	241	102	83	185	686	595	1,281
32	120	94	214	72	80	152	695	602	1,297
33	92	80	172	106	97	203	723	609	1,332
34	79	82	151	136	112	248	694	604	1,298
35	84	79	153	146	104	250	636	550	1,196
36	75	73	148	117	121	238	553	524	1,087
37	82	83	155	117	92	209	520	488	1,008
38	82	83	155	86	82	158	486	484	970
39	94	86	180	75	76	151	498	476	974
40	95	86	181	90	77	157	519	484	1,003
41	76	78	154	73	70	143	494	487	981
42	79	82	161	89	88	177	498	495	993
43	91	79	170	72	73	145	495	479	974
44	88	75	163	90	84	174	512	472	984
45	58	73	141	81	80	161	478	458	936
46	99	107	206	78	74	152	500	486	986
47	90	86	176	82	80	162	508	495	1,003
48	75	77	152				498	482	980

昭8. 4. 羽根井小開校, 分離

豊橋市花田国民学校

豊橋大空襲。昭20. 6. 20.

豊橋市立花田小学校

実行委員

本多幸市	山本武雄	杉原武雄	鈴木義徳	曾田清
鈴木鉄雄	加藤功	住野豊	鋤柄正	小林常吉
余郷富江	伊藤勇	白井吉彦	杉本文子	山本大蔵
北村とく子	河辺薫	本多恒三郎	羽多野幸子	小野田大敏
牧野弘	高橋七よ	田中利一	山下千鶴子	菰田秋子
中西敏光	中山法潤	森田貞夫	鈴木正男	松田得治
山本百合子	山本正敏	大沢みよ	尾関一男	藤城清門
宮本七郎	河山本寛	和井博夫	田島三郎	熊田嘉泉
今泉さか系	熊田嘉六	伊藤和シ	朝倉久治	壁谷芳朗
亀井利雄	尾崎博幸	桜島哲一郎	井上孝子	豊田あい子
住野さつ子	萩原内洋	佐藤好子	北谷和久	柴田石植
鈴木朝江	山山本弘	酒根本口	伊藤下わ	拓島幸富
松尾まさ則	山中島堅一	河根鈴	木朝倉下	鈴木高橋
白井龍平			森	
杉浦康次				
萩田喜久子				

参 考 文 献

豊橋市政五十年史	豊橋市政五十年史編集委員会編
明治初期に於ける豊橋地方の初等教育	近藤恒次著
資料・戦後20年史(5)	海後宗臣著
豊橋の教育百年の歩み1972	豊橋市教育委員会編
豊橋市史	豊橋市史編さん委員会編
渥美郡史	渥美郡役所編
近代日本総合年表	岩波書店編集部編
教育百年資(写真集)	教育百年史編さん会編
目で見る教育100年のあゆみ	文部省編
学制百年史	文部省編
豊橋市戦災復興誌	豊橋市戦災復興誌編さん委員会編
日本児童史上・下	唐沢富三郎著

——主な資料提供者—— (順不同・敬称略)

豊橋市役所	豊橋市立文化会館	豊橋市消防本部	羽田八幡宮	浄 慈 院
山口 進	安形 時男	林 春雄	鈴木 正一	金田 誠一
林 志づ子	山口 幸子	白井 良則	竹本徳太郎	山本百合子
古久根秀之	大山 晋太郎	稲場 治穂	杉本 文子	鈴木 弘
中根 勝次	大谷 礼吉	宮川 喜六	水野 太郎	高松 功
山本 孝	白井 俊秋	小林 直子	山本 武雄	杉原 武雄
豊田 里美	豊田 実	大山 敏子	内藤 博	木全 茂
岡本 和之	村田 岩勇	加藤 章次	羽田野 武	井上 勉
天野 昭				

あ　と　が　き

花田学校創立満100年を迎え、記念事業の一環として「百年花田学校誌」をまとめました。花田学校を偲ぶようすがともなれば幸いと思います。

編集に当っては、100年の長きにわたる花田の歴史の動きは年表に、それを語るものとして写真中心の資料構成にと考えました。また、過去に厚く現代に薄くと編集しました。戦災が、時の速い動きが、いかに多くの貴重な資料を失わせ、失わせつつあることを痛感させられました。そういった条件の中で生きた資料を、実際の花田の資料をと、多くの時間をかけてみましたが、輝かしい花田の歴史を十分に語る事ができず、ご期待に添えなかったこととお詫びいたします。

その中であっても、多くの方々のご協力によって、貴重な資料のご提供、ご助言をいただき、ここに発刊できる運びとなりましたことを厚くお礼申し上げます。

特に、旧師の近藤恒次先生、同窓会長の山本薫氏のご指導ご助言をいただきましたことと、写真技術のご協力をいただいた鈴木鉄夫氏に深く感謝いたしたいと思えます。

これを機会に、校区ならびに同窓会の発展と花田小学校の伸展充実を願ってやみません。

編集委員会

編集委員

近 田 孝 二
伊 藤 正 次
工 藤 恒 喜
佐々木 幸 男
竹 内 一 男
高 橋 健
花 井 笑 子
豊 田 信 子
鈴 木 三 明

百年花田学校誌

1972・10・14（発行）

〔非売品〕

発行 花田小学校百年誌編集委員会
発行 豊橋市立花田小学校
創立百年記念事業実行委員会
印刷 東三印刷（有）